

平成 17 年度 秋期 システムアナリスト 午後 解答例

この解答例は、独立行政法人 情報処理推進機構 情報処理技術者試験センターが公表しているものです。著作権は、同センターにありますので、その点ご注意ください。

問 1

設問 1

- ・ 接触先の設備が更新時期であること
- ・ 接触先の担当者が保守サービスに要望や不満をもっていること
- ・ 接触先の担当者が設備の新設・更新計画を示せること
- ・ 接触先の担当者が関心をもつ設備が E 社の取扱製品分野であること

設問 2 営業部門が見込客候補ごとに次取るべき行動を確認して、話の展開方法や最適な販売促進資料をアドバイスするなどの、チームにアドバイスする内容を、適切に記述していること

設問 3

- a ・ 見込客候補の数
 - ・ 継続してヒアリングできる担当者の数
- b ・ アウトソーシングによって獲得した受注件数
 - ・ アウトソーシングによって獲得した受注金額

* ----- *

問 2

設問 1 担当サービス会社に故障部品を通知し、出勤時に保守部品を準備する。

設問 2

- ・ 保守部品を W 社で集中購買し、調達価格を下げる。
- ・ 故障内容と修理時間を分析し、故障内容ごとに設定する標準時間に基づいた保守費用を支払う。

設問 3

遠隔監視システム

- ・ 稼働時間から点検対象となる空調機器を抽出し、定期保守の実施日を見直す機能
- ・ 稼働時間が点検対象となる規定時間を超過したときに、警告を示す機能
- ・ 稼働状態を分析し、故障の前兆となる事象を発見したときに、警告を示す機能

保守支援システム

- ・ 故障の発生回数が多い空調機器を検索し、同じ機器を未修理で使用中の顧客を抽出する機能
- ・ 故障内容を分析し、故障の発生回数が多い部品と平均故障間隔を出力する機能

* ----- *

問 3

設問 1

各事業部 業務改革への貢献度が明確に分かる効果の提示
経営企画部 全社横断の業務改革における必要な業務機能の整理

設問 2

- (1) Z 事業部で活用している要件定義取りまとめのテンプレートを採用する。
(2)
- ・ X 事業部のシステム開発標準の工程別の成果物を全社標準とする。
 - ・ 開発プロジェクトの開発工程ごとに有識者を集めてレビューを実施する。

設問 3 各事業部で類似する業務システムについて、情報システム部が全社の業務効率の向上を目的として、業務プロセスの標準化やシステムの統合化などの施策の提案を行うことを、適切に記述していること。

* ----- *

問 4

設問 1 顧客層 有力企業グループなどに勤務する役員や従業員
商品 顧客のライフプランに合わせた長期投資商品

設問 2

- ・ 著名なアナリストによる株価動向分析を、説得力をもたせてまとめた情報
- ・ 顧客ごとのライフプランにあわせたポートフォリオを実現する商品選択情報

設問 3

- (1)
- ・ 有効に配置された店舗網が、P 社の強みとなっている。
 - ・ P 社のサービスを支持しているのは、対面販売を重視している顧客である。
- (注) 経営資源を生かすという観点からの解答であること
- (2) 顧客が作成中のライフプラン画面をコールセンターでも同時に見ることができる機能を、適切に記述していること。
- (注) ライフプランシミュレーションに対するサポートは、顧客ごとの情報に基づいて対応する必要があることを理解した上の解答であること

注：この解答例に関するメールでのご質問には、応じかねます。あしからずご了承ください。